

「四国コンテンツ映像フェスタ2020」講演会・上映審査会・表彰式をリモート開催

《四国を元気にする16の映像作品を上映・表彰》

四国総合通信局(局長:野水 学(のみず ぐ))は、四国情報通信懇談会(会長:泉 雅文(いずみ まさふみ)四国旅客鉄道株式会社取締役会長)とともに、令和3年1月29日(金)にリモートにて「四国コンテンツ映像フェスタ2020」講演会、上映審査会及び表彰式を開催し、111名が参加しました。

「四国を元気にする! ~ 四国のステキを知ってほしい! ~」のテーマのもと、今年で14回目の開催となる当フェスタは、動画コンテンツの制作を通じた人材育成の促進と地域の活性化を目的に開催しており、今年度も77作品ものすばらしい作品を応募いただきました。

当日は、講演会、上映審査会及び表彰式の三部構成で行い、第一部では、松山市出身で自主映画制作を通じた地域振興活動や映画の若手人材育成活動を精力的に手がけられている「愛媛を舞台にした自主映画の会(ヒメブタの会)」代表の森幸一郎(もり こういちろう)氏を講師に迎え、自主映画や松山市民映画事業の制作経緯や地域への波及効果、また映画教室や演技教室の実施を通じた映像コンテンツ人材指導の取組についてご講演いただきました。

森氏は、「今後も映像文化と地域の発展を視野に入れ、活動を続けていきたい。」と締めくくられました。

第二部は、「小・中学生」、「アマチュア」及び「プロ・セミプロ・自治体」の部門別にノミネートされた16作品を上映し、制作者による作品のPRや審査員による講評を行う上映審査会、第三部は「最優秀賞」、「優秀賞」、「特別賞」、ゲスト審査員の森氏が選んだ「審査員特別賞」、応募作品の傾向や社会情勢等を考慮し、審査員長が必要と判断した場合に柔軟に設けることのできる賞として今年度から新設された「審査柔軟枠」で選ばれた「メッセージ賞」、「コロナに負けるな賞」について表彰式を行いました。

受賞者からは、「エントリーされていた他の映像を見させてもらい、改めて四国の良さを再発見した。」「制作者の想いや工夫が詰まった作品と、作品に対する審査員の方からのコメントを拝聴して、映像作成に関して大変勉強になった。」、一般聴講者からは、「初めて参加したが、リモートとは思えない臨場感があって非常に良かった。」「小・中学生の部でも上手に撮影・編集がされており、地域をPRする素晴らしい映像だったと思う。」「制作者のコメントや審査員の講評があり、今後の映像制作の参考になる。」などの感想が寄せられました。

また、本フェスタ開催に合わせ、本フェスタ応募作品に限らず、地域の活性化、地域の価値や魅力の再発見、郷土愛の醸成など四国の地域振興に資する動画作品をまとめて閲覧できるサイト「四国「地域振興動画コンテンツ」ポータルサイト」(URL:<https://www.shikoku-ictcon.jp/contest/>)を四国情報通信懇談会のHP上に開設し、本フェスタにおいてお披露目しました。さらに、本ポータルサイトの掲載コンテンツである動画コンテストの中から、グランプリを受賞した2作品をゲスト作品として上映いたしました。



【第一部 講演会】

演題: 映画制作を通じた地域振興と人材育成

講師: 愛媛を舞台にした自主映画の会(ヒメブタの会)

森 幸一郎 氏

【第二部 上映審査会】

ノミネート作品の上映、制作者によるPR及び

審査員による講評

【第三部 表彰式】

最優秀賞、優秀賞、特別賞、審査員特別賞、審査柔軟枠の表彰

最優秀賞作品



【小・中学生部門】

「祝20周年 北川村「モネの庭」マルモッタンに来てみよう」

北川村立北川小学校5年生 様



【アマチュア部門】

「ハマチハウマッチ〜営業マンハマチの物語〜」

[チーム名]株式会社魚魚魚 広報部(香川短期大学経営情報科デザインアートコース2年) 様



【プロ・セミプロ・自治体部門】

「オリジナルアニメーション『火の鳥』道後温泉編」プロローグ『大國主と少彦名』

松山市産業経済部道後温泉事務所 様

四国地域振興動画コンテンツポータルサイト



【掲載コンテンツ】

◎動画コンテスト

これまでに四国で開催された地域振興に資する動画コンテストを紹介。

◎四国コンテンツ映像フェスタ過去作品

これまでの入賞作品だけでなく、選外ながら地域振興に資する作品の一部も公開中。

※今後、掲載内容を充実させていく予定。